

## 近所に家族の悪口を言いふらす…

⇒近くに住んでいて、話ができる人には、  
症状などを伝えておきましょう

### 【 認知症の人の状態 】

とよさと病院 認知症疾患医療センター

介護する家族について、事実無根の話を周囲に言いふらすのは、よくあることです。失われた自分の記憶の空白を埋めるために、話を作って現実とのつじつま合わせをするためと考えられています。（作話）

また、認知症の人は自分に不利なことは認めようとしないので、作話は自分にとって都合のいい内容となり、その攻撃相手は最も身近な人になりがちです。認知症の症状は、より身近な人に対して最も強く出るからです。

### 【 対応方法 】

- ①最も信頼する相手にこそ、認知症の人はつらくあたるのだということを忘れないでください。そんなこと言われても、腹の立つこともあるでしょうけれど、心を許せる相手であることは間違いありません。
- ②近くに住んでいて、話ができる人には、認知症の家族がいることを隠したりせず、症状などを伝えておきましょう。介護する人も心身両面で楽になりますし、徘徊などがある場合に認知症の人にとっても何かと安心です。
- ③認知症の人の話は、その人の人生に関連した内容が多いので、話を合わせるつもりで耳を傾けましょう。ただし、悪口には肯定しないこと。「あの人もそう言った」と、介護している人を苦しめる結果になりかねません。
- ④妄想による攻撃が介護している人に向けられた場合、話題を変えたり、「お茶をいれますね」といったん席を離れると、認知症の人の興奮がおさまる場合があります。また、否定せず“またあんなこと言って”と軽く受け流しましょう。
- ⑤昼間仕事に出たり遠方に暮らす身内は、いちばん介護に携わっている人に、感謝の言葉を常に伝え、介護している人を孤立させないようにしましょう。

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P66-67

認知症の人と家族の会, 認知症になった家族との暮らしかた, ナツメ社, 2018, P68-69

まあ、大変ね



近所の人に症状を話し、作話に同調して聞いてもらえるよう協力をお願いします。

2022.6作成